



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年8月12日

上場会社名 株式会社共和コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6570 URL <https://www.kyowa-corp.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮本 和彦
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)澤田 亮 (TEL) (026)227-1301
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績 (2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,505	△51.9	△402	—	△95	—	△315	—
2020年3月期第1四半期	3,129	—	9	—	△26	—	△2	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△52.90	—
2020年3月期第1四半期	△0.47	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,211	2,897	25.8
2020年3月期	10,308	3,260	31.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 2,897百万円 2020年3月期 3,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.50	—	9.00	17.50
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では業績予想を精査中のため未定といたします。

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、現段階では合理的な業績予想の算出が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、合理的に予測可能となった時点で公表いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期1Q	6,080,130株	2020年3月期	6,080,130株
2021年3月期1Q	120,820株	2020年3月期	120,400株
2021年3月期1Q	5,959,430株	2020年3月期1Q	5,827,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、現段階では合理的な業績予想の算出が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、合理的に予想可能となった時点で公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が属するアミューズメント業界におきましては、2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により外出を自粛する傾向が強まり、アミューズメント施設への来店客数は減少傾向が続いております。このような状況の中、当社の主力事業であるアミューズメント施設運営事業におきましては、4月に政府の「緊急事態宣言」を受けた都道府県の「緊急事態措置」に基づく休業要請により、全店舗にて臨時休業を実施いたしました。その後、5月より段階的に緩和・解除された休業要請等に合わせて順次営業を再開し、6月12日に全店舗にて営業を再開いたしました。一部店舗では本書提出日現在も営業時間の短縮等の措置を講じております。なお、営業再開にあたりましては、諸経費全般に亘って削減に努めつつ、店頭での新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を徹底し、お客様が「安心・安全・安価」にお楽しみいただける店舗運営に努めております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における当社の業績は、売上高は1,505,557千円(前年同四半期51.9%減)となり、営業損失は402,310千円(前年同四半期は営業利益9,897千円)、経常損失は95,899千円(前年同四半期は経常損失26,171千円)となりました。四半期純損失につきましては、新型コロナウイルス感染症にかかる臨時休業期間に発生した店舗運営の固定費を特別損失として計上したこと等が影響し、315,269千円(前年同四半期は四半期純損失2,735千円)となりました。

当第1四半期累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① アミューズメント施設運営事業

アミューズメント施設運営事業におきましては、全店において来店促進等のイベントを自粛し、店舗従業員のマスク着用、店舗出入口付近のアルコール消毒液の設置、出入口ドア開放による換気、定期的なゲーム機の消毒清掃等を継続して実施し、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じてまいりました。また、ご来店いただいたお客様により快適に過ごしていただけるよう、店内の完全分煙化にも継続して取り組んでおります。なお、2020年5月に「アピナ キッズパーク大津京店」を開設、不採算店舗3店舗を閉鎖し、総店舗数は57店舗となっております。

以上の結果、アミューズメント施設運営事業における売上高は1,105,240千円(前年同四半期56.7%減)、セグメント損失(営業損失)は273,836千円(前年同四半期は営業利益194,993千円)となりました。

② アミューズメント機器販売事業

アミューズメント機器販売事業におきましては、得意先への継続的な販売や新規取引先の獲得を積極的に進めたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によるアミューズメント機器の発売や納期の延期、景品の受注キャンセル等により、売上高は345,329千円(前年同四半期36.9%減)、セグメント利益(営業利益)は3,306千円(前年同四半期60.1%減)となりました。

③ その他事業

その他事業とは、主に各種媒体を利用した広告代理店業であり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるイベント等の自粛や広告費の削減等が発生したものの、販促品の販売が増加し、売上高は54,988千円(前年同四半期70.0%増)、セグメント利益(営業利益)は5,818千円(前年同四半期300.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して903,276千円増加し、11,211,841千円となりました。主たる要因は現金及び預金が1,450,795千円増加したこと、アミューズメント機器が256,427千円、受取手形及び売掛金が205,674千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して1,266,732千円増加し、8,314,549千円となりました。主たる要因は長期借入金が1,899,379千円増加したこと、未払金が388,288千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して363,456千円減少し、2,897,292千円となりました。主たる要因は利益剰余金が368,907千円減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が当社業績に与える影響に関しまして現時点で合理的な算定が困難であることから、引き続き未定としております。

今後、合理的に予想可能となった時点で公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,610,460	4,061,256
受取手形及び売掛金	678,510	472,835
商品	37,633	42,280
貯蔵品	169,392	135,087
未収入金	40,586	42,560
その他	301,761	292,086
貸倒引当金	△1,826	△925
流動資産合計	3,836,518	5,045,182
固定資産		
有形固定資産		
アミューズメント機器(純額)	1,926,815	1,670,388
建物(純額)	1,311,338	1,335,941
機械及び装置(純額)	22,511	21,847
工具、器具及び備品(純額)	164,432	171,761
土地	764,314	764,314
その他(純額)	79,248	19,990
有形固定資産合計	4,268,660	3,984,243
無形固定資産		
その他	31,372	29,671
無形固定資産合計	31,372	29,671
投資その他の資産		
投資有価証券	103,629	111,468
繰延税金資産	236,096	367,885
敷金及び保証金	1,324,730	1,315,264
その他	568,607	413,169
貸倒引当金	△61,050	△55,044
投資その他の資産合計	2,172,013	2,152,743
固定資産合計	6,472,045	6,166,659
資産合計	10,308,564	11,211,841

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	942,962	631,612
1年内返済予定の長期借入金	1,204,370	1,425,484
未払金	752,093	363,804
未払法人税等	1,046	12,952
未払消費税等	97,180	739
資産除去債務	20,307	2,349
賞与引当金	69,458	80,934
設備関係支払手形	115,439	54,470
その他	47,607	38,133
流動負債合計	3,250,466	2,610,481
固定負債		
長期借入金	3,319,479	5,218,858
資産除去債務	472,118	480,174
その他	5,752	5,034
固定負債合計	3,797,349	5,704,067
負債合計	7,047,816	8,314,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	709,709	709,709
資本剰余金	501,395	501,395
利益剰余金	2,054,205	1,685,297
自己株式	△24,441	△24,441
株主資本合計	3,240,867	2,871,960
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,880	25,332
評価・換算差額等合計	19,880	25,332
純資産合計	3,260,748	2,897,292
負債純資産合計	10,308,564	11,211,841

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	3,129,906	1,505,557
売上原価	1,647,287	950,747
売上総利益	1,482,618	554,810
販売費及び一般管理費	1,472,721	957,120
営業利益又は営業損失(△)	9,897	△402,310
営業外収益		
受取利息	510	439
受取配当金	2,133	509
受取保険金	—	308,625
自販機設置協賛金	2,916	1,251
太陽光売電収入	2,229	1,900
その他	2,042	3,043
営業外収益合計	9,832	315,770
営業外費用		
支払利息	7,513	7,612
貸倒引当金繰入額	37,386	—
その他	1,002	1,747
営業外費用合計	45,901	9,359
経常損失(△)	△26,171	△95,899
特別損失		
臨時休業による損失	—	344,536
固定資産除却損	1,914	789
特別損失合計	1,914	345,325
税引前四半期純損失(△)	△28,086	△441,225
法人税、住民税及び事業税	17,198	8,221
法人税等調整額	△42,548	△134,176
法人税等合計	△25,350	△125,955
四半期純損失(△)	△2,735	△315,269

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,550,324	547,244	3,097,568	32,337	3,129,906	—	3,129,906
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,550,324	547,244	3,097,568	32,337	3,129,906	—	3,129,906
セグメント利益	194,993	8,291	203,285	1,452	204,737	△194,840	9,897

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業を含んでおります。

2. 調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,105,240	345,329	1,450,569	54,988	1,505,557	—	1,505,557
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,105,240	345,329	1,450,569	54,988	1,505,557	—	1,505,557
セグメント利益 又は損失(△)	△273,836	3,306	△270,530	5,818	△264,711	△137,598	△402,310

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業を含んでおります。

2. 調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等